



クローバー

2016. 11

第36号

～ 地域を支える、生命を守る、未来を育む医療を目指して～

胆沢病院
DMAT
活動報告

8月末に岩手県を直撃した台風10号 済生会岩泉病院からの広域搬送、避難所活動



岩手県消防学校SCUにて活動
=9月1日、矢巾町



被災者の健康管理のため避難所を巡る活動
=9月24日、岩泉町安家地区避難所



国体軟式野球会場予定だった岩泉野球場
=9月24日

8月末の台風10号により、県内では多くの被害が発生しました。中でも岩泉町の被害は甚大で、ライフラインの断絶、職員の被災により町内唯一の病院である済生会岩泉病院では、病院としての機能を維持できないとして、入院中の患者を中心に県内の病院に転院させる「病院避難」が実施されました。

県内のDMATをはじめ、東北各地のDMATが派遣要請を受けました。当院のDMATも9月1日から矢巾町にある消防学校において、患者搬送を統括するSCU（広域搬送拠点臨時医療施設）活動に参加しました。

岩泉病院の入院患者等の広域搬送を終えた後、9月25日まで県立病院DMATを中心に、避難されている方々の健康管理のため避難所を巡る活動を行いました。その活動の最終アンカーとして、当院のDMATが9月23日から25日まで活動し、岩泉町役場に引き継ぎを行わせていただきました。

今回の被害を目の当たりにし、海や大きな河川がなくとも災害はどこでも起こりうるということを痛感させられました。被災地の一刻も早い復興が望まれます。

看護師（日本DMAT隊員） 伊藤 浩仁

岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療（専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療）
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

<病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
- 2) がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
- 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
- 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受け入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
- 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。
上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます

3 階 病 棟

看護師長 佐藤 絹子



佐藤看護師長（前列中央）とスタッフのみなさん

診療科

外科、呼吸器外科、麻酔科、小児科、
耳鼻咽喉科、放射線科、眼科、総合診療科

病床数 51床

職員数 看護師28名、准看護師2名、看護補助4名

3階病棟は8科の混合病棟です。化学療法や放射線療法、緩和ケア対象の患者さんや手術を行なう方が主に入院されます。さまざまな疾患の患者さんが入院されますが、私達は、身体的な苦痛のみならず心理的なケアも援助出来るよう、コミュニケーションを大切に、患者さんの気持ちに寄り添い、安全で良質な医療を目指しています。そのために緩和ケア認定看護師、がん化学療法看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師などの認定看護師と協力しながら看護実践を行なっています。

また、チーム医療として医師、薬剤師、管理栄養士など多職種で定期的にカンファレンスを行い、患者さんの状況の確認をし、患者さんやご家族が希望される医療が提供できるよう努めています。

シリーズ

前号の医療社会事業士 中村さんからバトンタッチ!

ひと から ひと へ



さとう かずみ
佐藤 和文

職名：薬剤師（緩和薬物療法認定薬剤師）

出身：奥州市

経歴：平成18年医療局入職。県立一戸病院を経て、平成24年から胆沢病院勤務。平成28年「緩和薬物療法認定薬剤師」取得。

趣味：キャッチボール、博物館めぐり

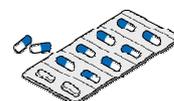
Q. 緩和薬物療法認定薬剤師について教えてください。

A. 緩和薬物療法は、病気によるつらい症状を緩和する薬物治療であり、がんの痛みに対するモルヒネなど医療用麻薬による治療も含まれます。緩和薬物療法認定薬剤師は、日本緩和医療薬学会が認定する資格で、当院では私を含め2名の認定薬剤師が在籍しており、緩和薬物療法の適正使用推進のため活動しています。

薬の効果や副作用を薬学的視点から評価し、病態や機能障害、生活スタイルに合わせた薬物治療を提案したり、フェンタニル速放性製剤のような新規薬剤導入時には使用の手引きを作成し配布するなど、教育・啓発にも取り組んでいます。緩和ケアチームの薬剤師としても活動しており、緩和ケアカンファレンス等において薬剤に関する情報提供を行い、場合によっては直接患者さんに服薬指導を行うなど、症状緩和のための薬物治療を支援しています。

Q. 医療機関へひとことお願いします。

A. がん患者さんの療養場所が多様化しており、がん・緩和薬物治療を受ける患者さんが療養場所にかかわらず最適な薬物治療を継続することができるよう、地域の医療機関の皆様と薬剤師との連携が重要になると考えています。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



地域医療支援委員会 年4回開催しています



胆沢病院は、平成26年12月1日付けで「地域医療支援病院」の承認を受けました。承認要件に「地域医療支援に関する委員会の設置」があり、平成26年10月に第1回の地域医療支援委員会を開催しました。その後は四半期ごとに開催を継続しています。委員会の概要と、これまでの協議内容を紹介します。

概要

岩手県立胆沢病院が、地域のかかりつけ医からの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため設置され、委員は医師会、歯科医師

会、薬剤師会、行政機関（奥州市、金ケ崎町、岩手県）の代表、学識経験者（清和会理事長）及び胆沢病院職員で構成されています。

協議内容

第1回では「地域医療支援病院」の説明とかかりつけ医制度の推進について協議。第2回で「地域医療支援病院」の承認報告を行いました。地域住民や医療従事者に対する研修会の実施状況、当院の救急医療の現状、患者紹介・逆紹介の状況を毎回報告して、様々な意見交換を行っています。委員会の提案で実施したのものとして、医師会と共同開催の症例検討会があり、平成26年4月からほぼ毎月開催しています。

近況報告

現在検討中のものとして、胆沢病院で行っている出前医療講演を医師会、歯科医師会、薬剤師会にも広げて将来的には行政に運営を委ねること、医科歯科連携の充実について、医薬連携（在宅患者訪問薬剤管理依頼）について、などがあります。

平成28年度「出前医療講演」実績数

開催日	場所	メニュー	参加者
4月25日	衣川保健福祉センター	●感染を予防する手洗い方法 ●緊急応急処置	64名
5月25日	旧くに屋あと（和館）	●介護予防	18名
7月15日	佐倉河地区センター	●脳卒中の治療全般	66名
7月16日	十文字会館	●糖尿病を防ぐ食生活	22名
9月16日	真城地区センター	●おくすりの正しい飲み方 ●どのように最期を迎えたいか、 どのように最期を支えたいかを考える	26名
10月17日	十文字会館	●どのように最期を迎えたいか、 どのように最期を支えたいかを考える	24名



身体を動かしながら介護予防を学ぶ参加者のみなさん=5月25日、旧くに屋あと



興味深く聴きいる参加者のみなさん=9月16日、真城地区センター

新任医師紹介 (平成28年10月1日付)



参与
(臨床検査管理科)

おの でら さちお
小野寺 幸男

卒業年 昭和49年

専門分野 内科、循環器内科

趣味 旅行、写真、パソコン、ゴルフ

ひとこと

検査データが適切に各科の医師、看護師に届くように見守る役割と考えています。



紹介センターからお知らせ

紹介患者FAX紹介の予約受付時間が変更になりました

変更前	8:30 ~ 19:00 (土・日・祝日含む)
変更後	8:30 ~ 19:00 (平日) 8:30 ~ 17:15 (土・日・祝日)

平成28年10月から、土・日・祝日の紹介患者FAX紹介の予約受付時間を上記のとおり変更しました。受付時間外にいただいたFAX申し込みについては、翌平日に確認後、紹介センターから紹介確認書等をFAX送信させていただきますのでご了承願います。

おねがい

紹介患者さんへお勧めしてください ご家族同伴で受診を！

初回診察時に、今後の治療方針や検査説明を行う際、患者さんだけでは十分な理解がいただけない場合や、今後の治療選択によってはご家族の意思決定が必要な場合がありますので、できるだけご家族同伴での受診をお勧めくださるようお願いいたします。

特にご家族同伴で受診していただきたい方

◎高齢者 ◎手術目的 ◎がん及びがん疑い

年末年始の診療体制

右記の期間、外来診療 (全科)を休診し、当直医師による救急診療体制となります。
救急のご紹介は、中央処置室にご連絡をお願いいたします。

12月29日 (木)
12月30日 (金)
12月31日 (土)
1月 1日 (日)
1月 2日 (月)
1月 3日 (火)

医師退職のお知らせ 平成28年9月末

呼吸器内科 臨時医師 有竹 秀美
※平成28年10月から応援医師として診察しています



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢区字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180 (紹介センター専用)

URL <http://www.isawa-hp.com/>